

KIO やさしさを「チカラ」に変える。

畿央大学

教育学部

現代教育 学科



健康科学部

理学療法学科
看護医療学科
健康栄養学科
人間環境デザイン学科
●建築・まちづくりコース
●インテリアデザインコース
●造形デザインコース

教育学部

現代教育学科
●学校教育コース
●幼児教育コース
●教育心理学コース

大学院

健康科学研究科

現代の教育課題に取り組む 現代教育学科

教育とは子どもの可能性を引き出し、その成長とともに喜ぶすばらしい仕事。学校はそんな先生と子どもの真剣なやりとりと歓声に満ちた楽しい場所のはずなのに、なぜ今、教育や学校をめぐる深刻な話題が絶えないのでしょうか。畿央大学教育学部では、現代の教育課題に取り組みその解決をはかる人材を養成したいと考えています。そこで本学では、現代の教育を「心理学」「地域教育」「健康教育」の観点からとらえ直し、「学校教育」においてもそれらの内容を重視して取り組みます。



1 体験型の学びを重視

理論で学んだことを実際に試してみてもその理解が進み、発見があるものです。本学科では学生たちが教育の現場を少しでも早く体験し、子どもたちや現場の教師から学ぶことを重視しています。1年次における付属幼稚園での「幼稚園見学実習」、2年次・3年次の「学校インターンシップ」、地域の子どもたちや保護者を大学に招いて行う「マミポコ・キッズ」「マミポコ・親子広場」、各種ボランティアなどの中で学生たちは大きく成長し、将来の夢を手に入れています。

2 3つのコースで、それぞれの夢を実現

- 学校教育コース** 小学校教諭をメインに「学校の先生」をめざします。
- 幼児教育コース** 幼稚園教諭と保育士をメインに、幼児教育のプロをめざします。
- 教育心理学コース** 養護教諭をはじめとする、心理学に強い教員をめざします。

| | 学校教育コース | 幼児教育コース | 教育心理学コース |
|------------------|---------|---------|----------|
| 小学校教諭一種免許状 | ◎ | △ | △ |
| 中学・高校教諭一種免許状(英語) | △ | | △ |
| 養護教諭一種免許状 | | | △ |
| 幼稚園教諭一種免許状 | △ | ◎ | |
| 保育士 | | ◎ | |
| 社会教育主事 | △ | | |
| 認定心理士 | | △ | ◎ |

◎はそのコースでめざす主な資格 △は各コース2つまで取得できる資格

学校教育コース

小学校教諭をメインに「学校の先生」をめざします。



インターンシップでの経験を生かして

今年の4月から、小学3年生の担任をしています。朝、子どもたちが全員そろわないことが多く、ノートに書き写す早さなど学力にも差があるため、子どもたちとの接し方や授業の進め方などに悩むこともあります。そんなときは、学校インターンシップで見学した授業のこと、ベテランの先生方がどのように子どもたちと接していたのかなどを思い出しながら、対応策を考えています。インターンシップを通して現場で役立つ貴重な経験ができ、教師になって改めて「畿央大学で学んでよかった」と感じています。畿央大学では卒論に行き詰まったり、試験結果に落ち込んだりしたとき、先生に気軽に相談できるアットホームな雰囲気のおかげで、前向きにがんばることができました。小学校教員になれたのも、先生をはじめ教職支援センターの方々など多くの人の支えがあったからこそ。今は担当している子どもたちにも、みんなで支え合って目標を達成する喜びを味わってほしいと思っています。

阪口 佳織さん
勤務先: 小学校教諭(奈良県)
2009年度卒業
奈良県立欽傍高校出身



幼児教育コース

幼稚園教諭と保育士をメインに、幼児教育のプロをめざします。



心地よい人間関係の学科で夢だった幼稚園教諭をめざす

引っ込み思案だった私をあたたく受け入れてくれた幼稚園の先生に憧れて、幼稚園の頃からずっと幼稚園教諭を志望していました。この春、無事に夢が叶い、今は年長組の担任をしています。高校時代に進路を考えてみつけたのが畿央大学。現代教育学科が新設されることを知り「できたばかりの学科で、みんなで新しいものが作り上げられたらいいな」と思いました。入学すると、みんな仲が良く、授業やボランティアに、将来の夢にと一生懸命。私も保育サークルの立ち上げに参加するなど、勉強以外の部分にも積極的に取り組みました。学科の友人たちや先生、スタッフの方など人と人の距離が密なのが畿央大学の特徴です。励まし合ったり、情報の交換をしたり、わからないことを質問したりと、夢に向かって頑張りつつも、居心地の良いアットホームな関係を築くことができました。まだ今は毎日が精一杯ですが、子どもと常に全力で向き合う幼稚園教諭をめざして、少しずつ努力を重ねて行くつもりです。

須田 恵都子さん
勤務先: 幼稚園教諭(大阪府)
2009年度卒業
大阪府立生野高校出身



教育心理学コース

養護教諭をはじめとする、心理学に強い教員をめざします。



命の大切さを伝える養護教諭 心理学が心の理解に役立っている

身近な人の死をきっかけに命の大切さを感じ、「子どもたちにも命の大切さを伝えたい」と、養護教諭の道をめざしました。同時に幼稚園教諭や保育士の資格も取得できる学校を探した中に畿央大学があったのです。資格取得のための授業に加え、子どもたちの心や気持ちを理解する上で大切な心理学も学びました。養護教諭は健康や悩みの相談を受ける機会が多いので、心理学の知識は今も役立っていると感じています。授業のほかにも、アルバイトや資格の勉強、インターンシップ、教職サークルなど、学生生活は盛りだくさん。忙しかったですが、いつもたくさんの友人と一緒にだったのでつらいと思ったことはありません。

ません。「学科全員が友だち」というような良い関係の中、向上心を持った仲間たちと目標に向かうことができました。畿央大学は「学びたい」と思う人には、みんなが手を貸してくれる場所です。大学で学んだことに現場の経験を積み重ね、学校の「要」になれる養護教諭へ成長したいと思います。

尾家 江里奈さん
勤務先: 中学校養護教諭(兵庫県)
2009年度卒業
兵庫県立山崎高校出身



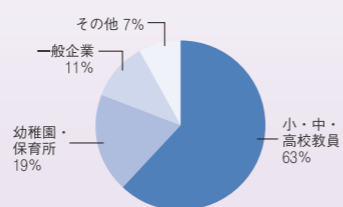
Data

第1期生が大健闘！ 教員採用試験結果

平成22年春、教育学部現代教育学科が初めての卒業生を送り出しました。最も希望者の多かった小学校教諭の4割という合格率はかなり高いものであるといえます。また狭き門である養護教諭で1名合格し、後輩に道を開くことができました。公立幼稚園・保育園も高倍率の

なか希望者17名中15名の合格者を出すことができました。この4月から講師を含めて約8割の卒業生が教壇に立ち、また企業就職希望者の就職率は100%でした。この成果を引き継ぎ、上回っていくために、今後ともさらに充実した支援を行っていきます。

現代教育学科 就職状況



教員採用試験結果(実人数)
小学校教諭 1次合格58名
2次合格37名(大阪府20名、奈良県6名等)
養護教諭 1次合格4名
2次合格1名(兵庫県)

公立幼稚園教諭・保育士採用試験結果
17名受験 最終合格15名
(奈良市・橿原市・大和郡山市・神戸市・吹田市・藤井寺市・京田辺市・津市等)

卒業生数157名の内訳

| | | | |
|-------------|-----|------------------|-----|
| 小学校教員 | 90名 | 私立幼稚園教員・保育士 | 12名 |
| 養護教員 | 7名 | 障がい者施設 | 1名 |
| 高校情報教員 | 1名 | 一般企業等 | 17名 |
| 私立小中高教員 | 1名 | 次年度受験準備(講師登録中含む) | 5名 |
| 公立幼稚園教員・保育士 | 17名 | その他(進学・自営等) | 6名 |

※人数には講師等も含まれます。

学校インターンシップでの学び

坂本 まず自己紹介とあわせて、学校インターンシップでどんな事を学んだのかを聞かせてください。

足立 2回生から学校インターンシップに参加しました。堺市の小学5年生の子ども達と1年間を通じてふれあうことができ、チームアイチングや特別支援学級などでひらがなや漢字の指導、絵本の読み聞かせなどを経験させていただくことができました。

杉本 私は3回生の前期と後期に2つの幼稚園でインターンシップを経験しました。現場では園長先生をはじめ、先生方から色々なアドバイスをいただくことができ、ありがたかったです。

井村 僕も2回生から堺市の小学校で1年間のインターンシップを経験しました。5月からの半年間は5年生の算数の補助教員を担当し、その後の半年間は4年生の主に特別支援教育にかかわるサポートをさせていただきました。教育実習は短期間なので、その場の雰囲気しかつかむことができませんが、学校インターンシップでは1年を通じて流れを知り得たことが大きかったと思います。

山本 1回生の後期から奈良県の小学校で1年間のインターンシップを経験し、また2回生後期からの1年半は、別の小学校にも行かせていただきました。小学校やクラスによってもそれぞれ雰囲気も違っていたので、2校経験させていただいたことは大きな収穫だと思っています。

坂本 それでは、学校インターンシップを通して、「自分が成長できたな」と思うことがあれば聞かせてください。

井村 教師としての立場や言葉の重みです。子ども達から「次の休み時間、一緒に遊ぼう」と誘われると、つい気軽に「いいよ。」と、口約束してしまふ。すると、子どもの方はちゃんと覚えていて、こんな喜びを感じられる仕事は、先生しかない。まずは、自分自身が笑顔で、子ども達も笑顔いっばいの伸び伸びとした明るいクラスを創りたいと思いました。

坂本 教員採用試験の際にも役立ちましたか？

足立 採用試験には、集団面接もありますが、誰かが意見を言いたそうだと感じれば、自分の発言は控えるなど、全体を見渡して行動するといった、心のゆとりが生まれたように感じました。受験生の中でインターンシップを経験したのは私ひとりだと思つと、自分を信じる力にもつながったよつです。エントリーシートに書く内容にも、インターンシップの経験が99%生かされたと思つています。

杉本 インターンシップ先の園長先生から「自分から発信するだけでなく、子どもに気づくこと。受け入れる」ということが大切だよ。」とのアドバイスをいただきました。それから子ども達から字がよつに心がけてきました。そんな経験が採用試験合格にもつながったのかなと思つています。

活動記録の役割

坂本 毎回「活動記録」を提出して、指導教員とのやりとりをするのは当校ならではの取り組みです。

杉本 私は初め、何を書いているのかわかりませんでした。でもその日、日が終わって書いてみると反省点や今後の課題がいっぱい。自分を見つめ直す良いきっかけになりました。

足立 活動記録として書き記しておかなければと意識することで、ペンとメモを常備するようになりました。活動記録は大学の指導教員がしっかりと見てくださっていることもあって、続けることができました。後から読むとその時のことを反復して考えることもできます。

山本 現場での対応がこれでよかったのか？

と覚えていて、次の教室まで来て私のことを待っているのです。「先生、ドッチボールやろう。」「トランプやろう。」と誘いを受けました。自分の言葉に責任をもたなければいけない。

山本 大学に入るまで、あまり子ども達との接点が多かったので、インターンシップを通して2年半子ども達と一緒に居たことは大きいと思います。教育実習でも、現場の先生から「子どもとの接し方、うまいね。」と声をかけていただきました。気づけば子ども達の中にすーっと入っているようになっていた。日々の積み重ねかなと感じました。インターンシップでの経験で教育実習の1か月がより充実したものになったように思います。

坂本 インターンシップを通じて、よりいっそう教師になりたい想いは膨らみましたか？

山本 子ども達はほんとうにかわいいです。私が入ったクラスの先生は子ども達から大きな信頼を寄せられている憧れの先生でした。子どもが折り紙を折って、「はい、先生！」と渡す光景ひとつとっても、心に残っています。逆に、もし私がその立場なら、どうしているだろうと考える場面にも遭遇しました。教師への具体的なイメージがわいてきて、将来への夢、希望がより明確なものになりました。

自分を見つめ直すきっかけに

杉本 幼稚園では保育の舞台裏などの経験もさせていただくことができました。発表会や作品展なども、段取りや、手作りの飾りつけなどの細かな仕事もたくさんある一方で、園児への指導にも熱が入ります。子どもが好き。だから、なりたいたい！と思っただけでは務まらないということもよくわかりました。キラキラ輝いておられる先生方を間近に見て、素敵な仕事だなと再確認することができました。

足立 学校に行く、毎日、小さな発見や感動がある。子ども達の「ありがと」の気持ち、消したこともありました。

坂本 ところでインターンシップに行く前に行つた後では、大学の授業を受ける上で何が変わりましたか？

山本 大学の先生がおっしゃっていることが、具体的にイメージできるようになりました。子どものほめ方、しかり方などのお話にも興味津々。現場で「間接的にほめる」を実践してみたところ、子どもは満面の笑顔。効果あつな！と実感しました。

足立 インターンシップの経験が特に生かされたのは児童観についての授業でした。授業は子どもが主役なので、授業の準備段階として子どもをしっかり見ないといけません。子どもを具体的にイメージすることができたから書きやすかつた。指導法については、教育実習の場で役立ちました。

夢を叶えるために

坂本 最後に、畿央大学で学んでよかったことや後輩へのアドバイスをお願いします。

杉本 どの先生もみんな私の名前まで覚えてくださっていることがうれしい。それに先生の研究室にも行きやすい雰囲気があり、先生と学生が密な大学だと思います。就職活動のための面接練習などは、先生がお休みの土曜日にもわざわざ開いてくださって感謝しています。よい大学なので、これからもっと大きくなつてほしいと思います。

足立 畿央大学には、学校、先生、学生が一丸となつてよい大学をつくるというアットホームな雰囲気があります。小さい大学ならではのよさがあり、たくさん時間を学校で過ごすことができました。おかげで私は、小学生の頃から憧れていた学校の先生になる

現場でしか学べないことを糧に

畿央大学では、学校現場での実務経験を積む「学校インターンシップ」を積極的に行っています。「学校の先生」になった卒業生と、現在、活動中の在校生に参加いただき、お話を伺いました。

現代教育学科座談会



山本 里美さん
4回生
奈良県立平城高校出身



井村 寛人さん
4回生
大阪府立富田林高校出身



杉本 香織さん
勤務先:保育士(奈良県)
2009年度卒業
奈良県立桜井高校出身



足立 知弘さん
勤務先:小学校教諭(大阪府)
2009年度卒業
大阪府立八尾高校出身



坂本 暁美 准教授



ことができたとおもっています。後輩へのメッセージとしては、自分の将来のことを一番に考えて大学をどんどんと利用してほしいということです。一般企業ならキャリアアセンダー、教職志望であれば教職支援センターを活用してほしいと思います。こちらが働きかければどの先生も親身になって応えてくれます。たくさん授業に出席して夢を実現させてください。

学校インターンシップ制度

学校インターンシップは、畿央大学周辺の市町の教育委員会と協定を結び、週1回、小学校や幼稚園で活動する取り組みです。導入初年度の協定締結先は3市町だったものが、現在は11市町にまで広がりました。参加を希望する学生も多いので、2010年度からは教育実習科目として、単位が認定されることになりました。事前指導では、社会人としての心がまえやマナーを学びます。インターンシップ中は、日誌をつけ担当教員に提出します。「しかり方が分からない」あるいは「私のいうことを聞いてくれない」など、さまざまな課題に直面すること

でしょうが、教員の指導で乗り越えていけます。修了後は事後報告会を開催し、代表者の発表や意見交換も行われます。このころになると、参加した皆さんは見違えるくらい成長していることでしょう。

畿央大学が連携協定を結んでいる教育委員会
奈良市教育委員会／広陵町教育委員会／香芝市教育委員会／宇陀市教育委員会／大和高田市教育委員会／上牧町教育委員会／田原本町教育委員会／斑鳩町教育委員会／安堵町教育委員会

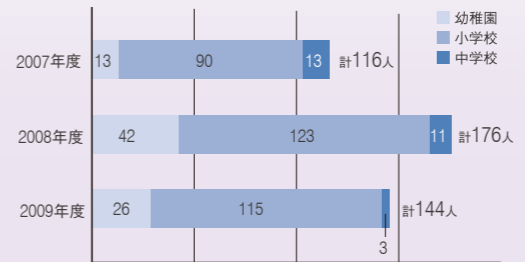


▲連携している教育委員会の課長や指導主事による事前学習会の様子

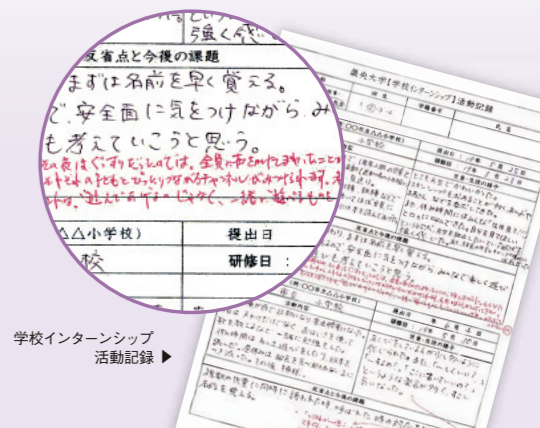


▲教育委員会による教育長・学長連名の学校インターンシップ修了証の授与式

畿央大学生の学校インターンシップ参加状況



※各年度の前期と後期の参加人数を合わせています。



学校インターンシップ活動記録

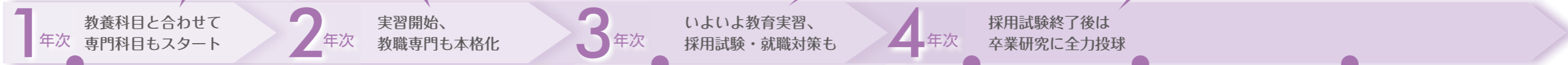
畿央大学の学びのプログラム

「ベーシックセミナー」で大学の学び方を身につけ、「教養科目」で社会、自然、人間、文化などに対する理解を深めます。必修の「現代教育論」で現代の教育課題について考え、また「教育の基礎理論」や「教科に関する科目」で専門科目へのスタートを切ります。

各科目の指導法の授業も始まり教職への学習が本格化します。また保育士希望者は、実習が2年次夏休みから始まるので、それまでに履修しておかなくてはならない科目に集中することが必要です。学校インターンシップへの参加や模擬授業の学習も並行して進めます。

3年次の夏休みにはよいよ教育実習に出かけます。教壇に立つわけですから緊張するのは当然ですが、日々の学習、学校インターンシップ等による体験があればより充実した実習になるでしょう。一方、教員採用試験対策、企業志望者は就職活動が本格化します。

夏の教員採用試験に向けて全力で取り組みます。1次試験から都道府県によっては3次試験まで長丁場ですが頑張れば「先生」に手が届きます。2種類の教員免許を希望する人は9月に教育実習があります。また4年間の集大成、卒業研究についても全力で取り組みます。



1 年次 教養科目と合わせて専門科目もスタート

ベーシックセミナー
課題発見・解決に必要な能力を養う

ベーシックセミナーの授業では、大学の学びで重要な課題発見・解決能力を身につけることをねらいとし、コミュニケーション能力や表現力など学習に必要なスキルを習得します。前半は、新入生宿泊研修で行った「砂の造形活動」(雨天の時は「紙の造形活動」)を振り返り、グループで紙芝居として表現し、発表します。後半は、関心のある教育関連テーマを設定して調査や研究、グループディスカッションなどを行い、各自が自由な表現手法を使ってまとめ、発表します。これらの学習活動におけるプロセスや成果はすべてポートフォリオ(学習の記録)として整理し、自らの学習の成果を確認するとともにその後の自発的な学習活動につながるようになります。



新入生宿泊研修(砂の造形)

2 年次 実習開始、教職専門も本格化

教育実習
きめ細かいフォロー体制でサポート

どの学校に行っても同じですが、実習先で学生は「先生」と呼ばれます。これまで学んだ知識や技能をいかに活かすことができるのか問われる場が、教育実習です。実習での学びを深く確かなものにするため、事前指導を単位化し、実習中も事後も学生と教員がコミュニケーションをとりながら、きめ細かいフォロー体制でサポートしています。また、ひとつでも多くの実践の場をつくりたいということから、2年次後期から、オープン教室にて「現代教育研究会」を開いています。子ども役の仲間を前に授業を行い、お互いを講評し合うスタイルも活発です。4年間の中で、教育実習はほんの1か月です。いかに充実した期間にすることができるかに焦点を合わせ、学生と教員が一丸となって取り組んでいます。



3 年次 いよいよ教育実習、採用試験・就職対策も

つくろう!理科
楽しみながら科学的思考を育む授業法

理科実践演習「つくろう!理科」は、その名のとおり、理科の授業を学生が教材づくりから始める実践型の授業です。実験教材についても、学生のアイデアで身近なものを取り入れるなど工夫を重ねながら進めています。子どもたちの理科離れを防ぐためには、理科のおもしろさを伝えることが一番です。理科の実験も、見せ方次第で、マジックを見るかのように子どもたちの目が輝きます。そのため、教える側も、楽しみながら自信を持って進められることが大切だと考えています。学生の主体性を伸ばしながら、子どもが楽しめる実験を工夫してつくる授業です。



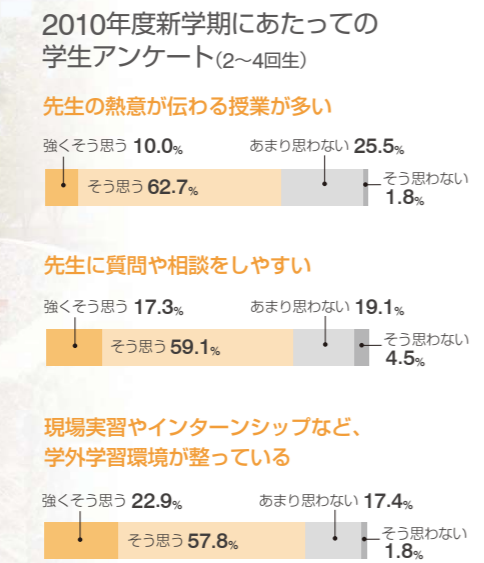
4 年次 採用試験終了後は卒業研究に全力投球

卒業研究
研究を通して自分自身を表現

卒業研究は、これまでの学習の成果や養ってきた価値観を踏まえて、自分が一番関心のあることや、自身の将来の仕事に役立つであろうことに焦点を当て、各自がテーマを設定します。卒業研究は、ただの文字や数式の羅列でも、単なる大学生生活の集大成でもありません。ここで重要なのは、「なぜその研究をするのか」という問題意識を明確に持つこと。研究計画に基づく実践、分析、考察を通して、「自分自身」を卒業研究で表現するつもりで論文を書くことがポイントです。4年間で何を学び、何に価値を見出して過ごしてきたか、こうした大学時代の「自分自身を問う」経験は、卒業後に教師として子どもたちに接する際にも活かされるでしょう。

- 卒業研究テーマ例**
- 幼児の音楽指導に関する考察—身体表現を通して—
 - 学級崩壊への対応を考える
 - 目標に向かって生きる心を育てる道徳授業の在り方
 - 小学校外国語活動における理想的な指導法
 - 色彩と子どもの学習環境についての研究
 - 子どもの発達とゲームに関する研究
 - 学校教育のパートナーとしての家庭・地域
 - メディアが子どもに及ぼす影響に関する研究
 - 食育といのちを大切に教育の関連性についての一考察
 - 不登校児の支援に関する一考察

教員採用試験(7月)



学生活動レポート

マミポコ・キッズ

子どもと遊ぶ活動を通して教育のあり方までも考えます

野榮 愛美さん
3回生
大阪府立和泉高校出身

マミポコ・キッズは、畿央大学の学生と近隣の小学校の子ども約50人が、一緒に遊ぶ活動です。これまで鯉のぼりやリース作りなどの工作のほか、ゴム跳びやおはじき、お手玉といった普遊

びを実施してきました。この活動に取り組んで良かったのは、子どもを見る視点が変わったこと。最初は活発な子ばかりに目が向いていましたが、目立たなくても子どもはみんな素晴らしいんです。工作が終わった後、大人に言われなくても一人でゴミを拾う子、低学年を思いやる子…。子どもがそれぞれ持っている、キラリと光る“いいもの”を見つけられるようになりました。小学校の教師になっても、この視点を忘れずに子どもたちと接していきたいと思っています。

VOICE

マミポコ・親子ひろば

母子と学生がみんなで楽しむ親子サークルで一緒に成長

正岡 麗さん
3回生
私立大阪学芸高校(大阪府)出身

マミポコ・親子ひろばは週1回、2歳から3歳くらいの子とママたちとそのお母さんに大学に来ていただき、一緒に遊んだり、絵本を読み聞かせたりする活動です。幼稚園や保育園の先生をめざす学生たちが中心となり、前半1時間はおもちゃを出して自由に遊んでもらい、後半30分で絵本の読み聞かせのほかに手遊びやダンスをします。子どもたちとの遊びや、お母さんのお話も勉強になりますが、おもちゃ遊びや、絵本の読み方の練習、子どもたちが楽しめる手遊びなどの事前準備も、将来に向け

ての良い経験になっています。成長とともに会話や遊びがはっきりしていく子どもたちを見てると、私たち自身も笑顔になりますし、日々成長できるように思います。

VOICE

教職クラブODEN

模擬授業と反省会でよりよい先生をめざす

井上 卓也さん
3回生
私立高知中央高校(高知県)出身

週1回、オープン教室に集まり、毎回2、3名が模擬授業をしています。自分で選んだ科目の授業や保育、「オリジナル」というテーマに沿った発表をします。科目やテーマ選び、教材作成、内容、練習など準備することは多く、模擬授業の2週間以上前から準備し、先輩や先生方にも相談して臨みますが、実際に教壇に立つと思いつりには進みません。授業後に開かれる反省会では、子ども役として参加してくれたメンバーからも「教材がわかりにくい」など、厳しい意見が飛び出します。反省会での指摘や、ほかのメンバーの授業を受けた経験を

次の発表や教育実習に活かします。長期休みには広島・長崎での平和学習や、歴史的な場所を訪ねる「合宿」も行います。「将来は教職に」という同じ目標を持つ仲間同士、お互いに励まし合いながら夢に向かっていきます。

■ 教職支援センター

教職をめざす学生をあらゆる面からサポート みんなでがんばる雰囲気を力に

キャリアを積んだ 教員が対応

教職支援センターは、教職をめざす学生のお手伝いし、支えになる場所です。教員採用試験や教育実習、学校インターンシップに関する相談や情報提供、事務手続きを行います。教職をめざす学生の顔と名前はもちろん、どんな希望を持っていて今どんな取り組みをしているかなど、状況を詳細につかみ、一人ひとりの学生のニーズに応じたアドバイスをしています。センタースタッフには現場で長年のキャリアを積んだ校長経験者もおり、経験をいかして相談にのっています。

早期からの試験対策

採用試験対策は1回生のガイダンスから始まり、2回生からは一般教養対策講座などがスタートするなど、早い時期からスタートするのが特徴です。3回生からは個別面談で学生の希望や不安を聞き、相談できる関係づくりを行う一方で、採用試験対策も

いよいよ本格化していきます。試験直前まで面接や実技の指導も行います。

学校インターンシップで 実践力をつける

採用試験でも実践的な指導力が重視される傾向が強まっています。実践の面では、「マミポコ」などのボランティア活動や教職サークルに参加する学生も多く、大学としても奨励しています。また、協定を結んだ地域の小学校や幼稚園に出かけ、実際に「先生」として子どもたちと接する「学校インターンシップ」を行います。これには、昨年度で100名以上の学生が参加しました。参加した学生は、子ども理解がきちんとできるので、教育実習でも初日から子どもと一緒に遊んだり、授業中支援が必要な子どもの傍についたり、充実した教育実習につながっています。

みんなで頑張る雰囲気が特色

本学の特色として、友人同士、あるいは先輩と後輩、教職員と学生というように、皆で



励まし合い、目標に向かう雰囲気があります。例えば、学生同士で自主的に模擬授業や集団面接の練習をし、教員がそれを熱心に指導している光景がよく見られます。これは小さな大学ならではの大きな特色です。こうした大学の雰囲気が1期生の採用試験の結果にもつながりました。

教員採用試験は ゴールではなくスタート

教員採用試験が「ゴール」ではなく、その先にある30年間の教員生活をタフで元気に続けていくこと、自分の研究課題を持ちながら頑張る教員であることが大切です。そのための力をつける4年間を、教職支援センター、教員、大学全体で支援していきます。

■ キャリアセンター

教職以外にも多様な進路選択ができるよう 一人ひとりに向き合ってサポート

教育学部生は教員採用試験を受けて必ず先生になるべき!? そんなことはありません。もちろん多くが教員採用試験合格をめざしますが、それ以外の進路を選ぶ人もいます。「世界を相手に仕事がしたい」「教員とは違った立場から子どもと関わりたい」「興味のある分野を見つけた」など理由は様々です。ボランティア活動やインターンシップなどで多くの人と出会い、様々な経験をして進路変更する人もいます。畿央大学では、担任、教職支援センター、キャリアセンターが連携し、どのような進路にも希望が実現できる支援体制が整っています。実際、1期生は20%、2期生(現4回生)は25%の人が教職以外の道を希望しています。一般企業希望者には「キャリアガイダンス」、私立の幼稚園・保育所・福祉施設希望者には「幼・

保・施設ガイダンス」を実施し、就職に必要な知識、マナー、情報などを提供しています。また、1人ひとりに合った求人紹介やアドバイスをしています。その結果、1期生の就職希望者内定率は100%でした。



卒業生の声

添削指導で 書類選考は ほとんど通過



川下 真由さん
勤務先:株式会社三井住友銀行
2009年度卒業
私立近畿大学附属高校(大阪府)出身

教育学部には先輩もおらず、就活は分からないことだらけでした。キャリアセンターに相談に行くと、私の名前を覚えてくださっていてビックリしました。不安なことを話し、何をすればよいのか具体的に教えていただき、キャリアセンターを徹底的に利用すると決めました。それからは、全てのエントリーシートを添削していただきました。おかげで、書類選考はほとんど通過、第一志望の企業に就職することができました。